

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

G30を
STEP UP!



～燃やすごみの約4割を占める生ごみの減量・資源化に向けて～

都筑区佐江戸町の皆さんの協力を得て、 「G30生ごみマイスター事業」を10月から開始!

※マイスターとは、職人や達人に与える称号のことで、今回、G30において一歩先行く市民に贈る称号です。

市民・事業者との協働でG30行動を推進した結果、平成19年度のごみ量は13年度比で38.7%削減されました。

この大きな成果をもたらした市民力をさらに発揮していただき、さらなるごみ減量・リサイクル推進に向けて、生ごみを分別収集し堆肥化する実証実験を行います。

また、その堆肥を地産地消に取り組む農家で活用していただき、「一歩進んだ」地産地消の仕組みづくりを進めます。

- 農家戸数が市内1位、経営農地面積が同2位と農業が盛んで、「都筑野菜」による地産地消を推進している都筑区の**世帯・農家の協力を得て実施します。**
- 積極的に協力を申し出ていただいた**佐江戸町内において、協力していただける約200世帯を募集し、生ごみを分別収集します。**
- 生ごみの分別に協力していただける方に、「**生ごみマイスター**」の称号を贈ります。
- 収集した生ごみは、市内の民間施設で堆肥化し、**直売農家グループ「都筑ファーム」で野菜栽培に活用していただきます。**
- 栽培した野菜は、**直売所等を通して、協力世帯も含めた区民の食卓に届きます。**

地域住民（生ごみマイスター）

（佐江戸町内会の約1,300世帯のうち、
200世帯を8月から公募）

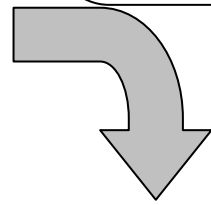
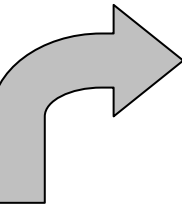


専用密閉容器で分別排出

堆肥化事業者

（市内の事業者を予定）
収集した生ごみを堆肥化

生ごみの堆肥化による 一歩進んだ地産地消の仕組み



地域野菜

（直売所、都筑区役所の朝市等）



「都筑野菜」として販売し、一般区民にも生ごみ堆肥化と地産地消をPR

地域農家

（都筑区内の農家）



堆肥を活用して「都筑野菜」を栽培

